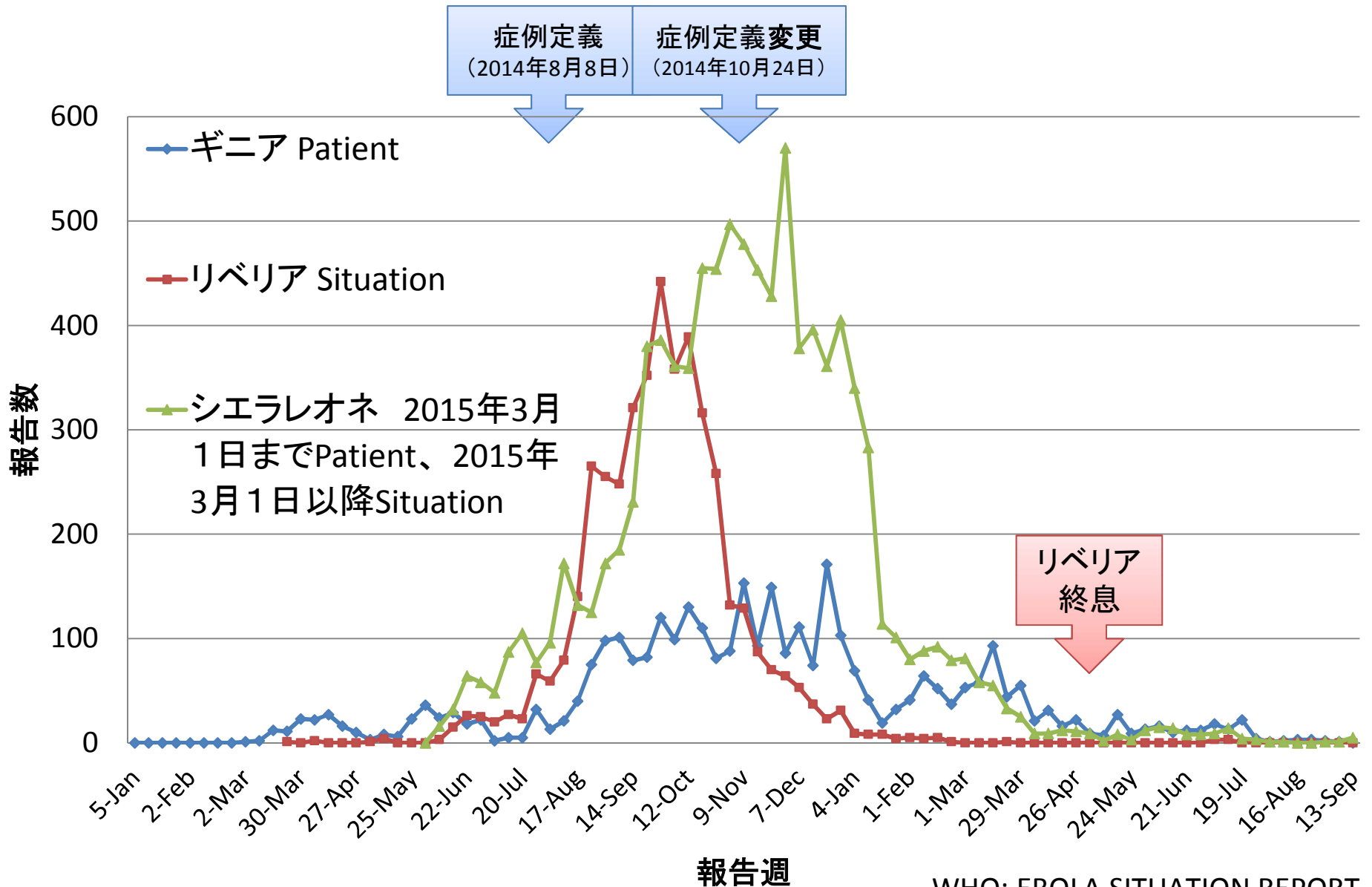


# エボラ出血熱の流行状況等について 2015年9月17日現在

国立感染症研究所  
感染症疫学センター  
FETP

# 疑似症定義の変遷 (2014年8月～11月)

# Confirmed weekly reported EVD cases



# 疑似症の症例定義： 平成26年8月8日版

診察の結果、38℃以上の発熱に加え、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、胸痛、腹痛、嘔吐、下痢、食思不振、脱力、原因不明の出血などの症状があり、かつ、次のア又はイに該当する者について、エボラ出血熱が疑われると判断した場合、隔離の措置をとること。

ア 到着前21日以内に、エボラ出血熱患者（疑い患者を含む）の体液等（血液、体液、吐物、排泄物など）との接触歴がある者

イ 到着前21日以内に、コウモリ、霊長類等に直接手で接触するなどの接触歴がある者。

# 疑似症の症例定義： 平成26年10月24日版

ギニア, リベリア又はシエラレオネの過去21日以内の滞在歴が確認でき, かつ, 次のア又はイに該当する者について, エボラ出血熱が疑われると判断した場合, エボラ出血熱の疑似症として取り扱うこと.

ア 38°C以上の発熱症状がある者

イ 21日以内にエボラ出血熱患者(疑い患者含む)の体液等(血液, 体液, 吐物, 排泄物など)との接触歴(感染予防策の有無を問わない)があり, かつ, 体熱感を訴える者.

# 疑似症の症例定義の変遷

2014年8月8日

- 臨床徴候  
発熱＋その他の症状  
かつ
- 接触歴
  - ・患者の体液等への接触  
又は
  - ・動物への接触

2014年10月24日

- 渡航歴  
具体的な発生国名  
(ギニア, リベリア, シエラレオネ  
±コンゴ共和国, ナイジェリア)  
かつ
- 臨床徴候：発熱  
又は
- 接触歴＋臨床徴候  
患者の体液等への接触  
＋体熱感

渡航歴が重要であること, 多くが「発熱」の症状から始まることが考慮されて変更された。

# 日本におけるEVD疑似症9例のまとめ

(2014年10月～2015年9月7日現在)

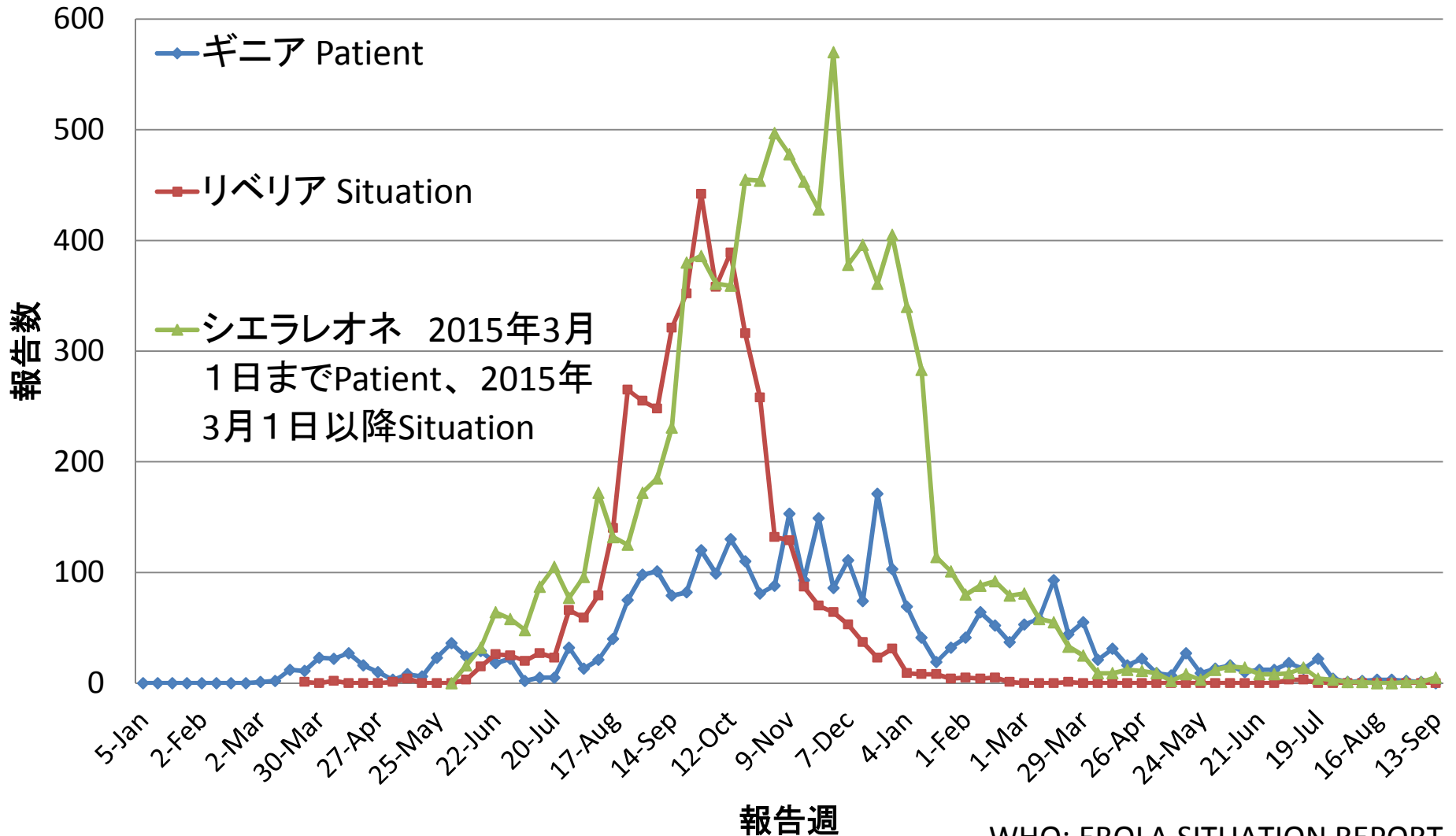
渡航先	
ギニア	4例 (11月, 5月, 7月2人)
リベリア	2例(11月, 3月)
シエラレオネ	2例(12月, 1月)
西アフリカ	1例(10月)
症 状 (重複あり)	
発熱	9例
寒気	1例
咳嗽	1例
体の痛み	2例
頭痛	1例

接触歴	
接触歴なし	7例
埋葬手伝い (袋のみに接触)	1例
不明	1例
最終診断	
マラリア	3例
GAS咽頭炎	1例
急性副鼻腔炎	1例
インフルエンザ	1例
不明	3例

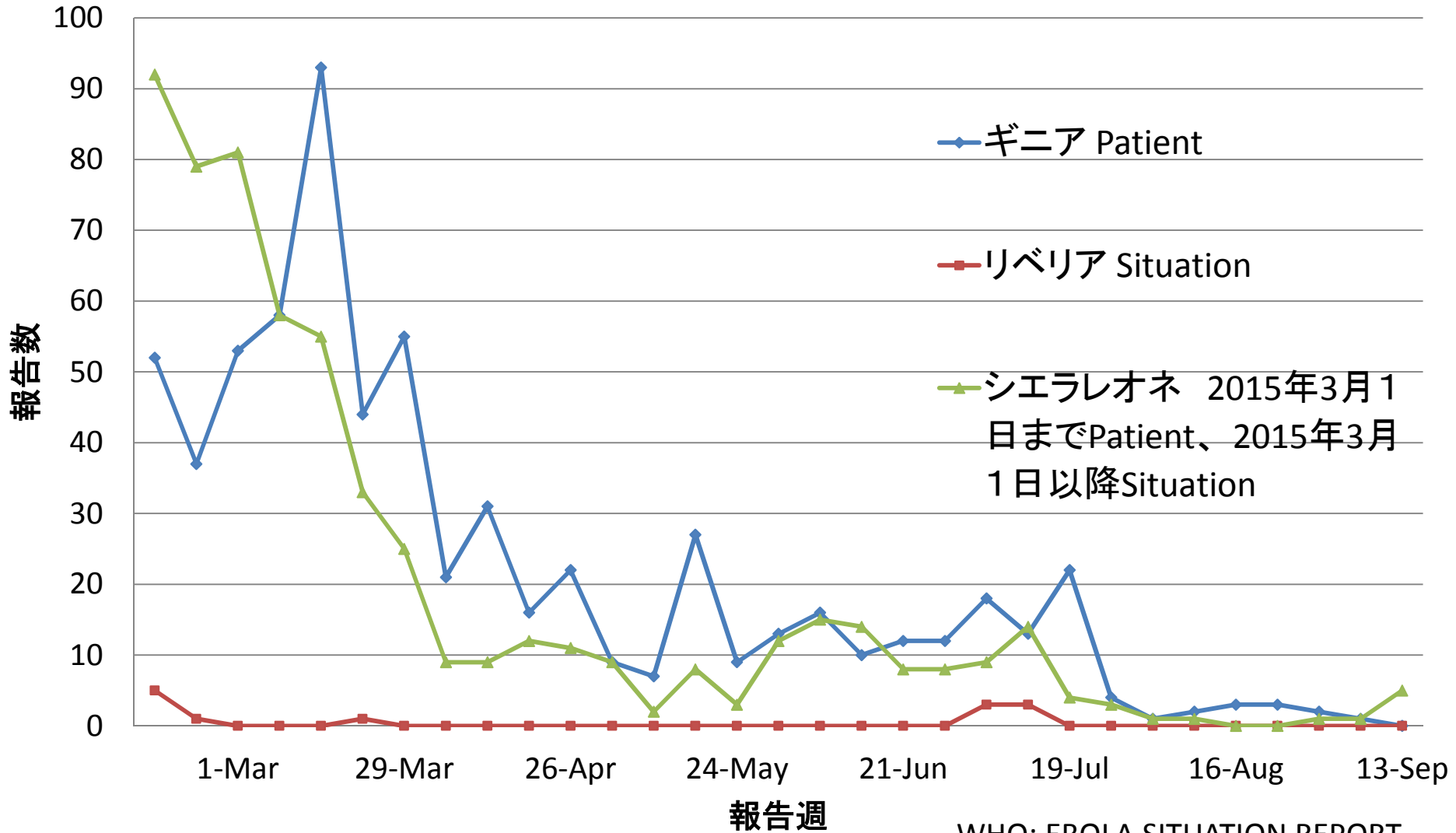
# 西アフリカにおけるEVDの現状 (WHO situation report on 16 Sep)



# Confirmed weekly reported EVD cases (date up to 13 Sep 2015)



# Confirmed weekly reported EVD cases (date up to 13 Sep 2015)



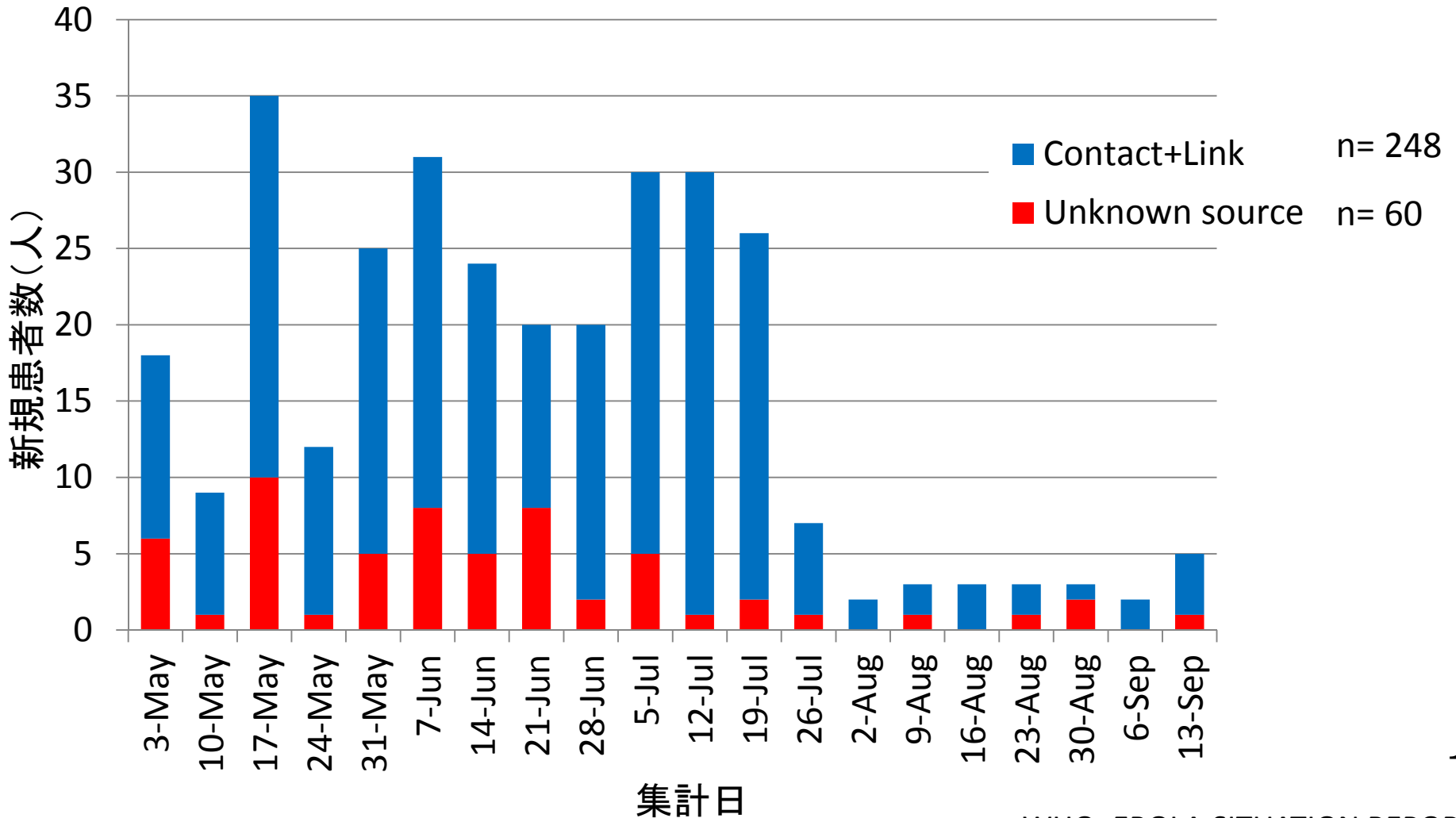
# Location and epidemiological status of confirmed cases in the 3 weeks to 13 Sep 2015

Country	Prefecture/ District/ County	Sub- prefecture/ Chiefdom/ District	Week 35 (24 - 30 Aug 2015)	Week 36 (31 Aug - 6 Sept 2015)	Week 37 (7 - 13 September 2015)					Date of last confirmed case
					Cases	On contact list	Epi- link*	Unknown source of infection <sup>†</sup>	Confirmed community death <sup>§</sup>	
Guinea	Conakry	Ratoma	1	1						01/09/2015
	Dubreka	Dubreka-centre	1	0						25/08/2015
Subtotal			2	1	0	0	0	0	0	
Sierra	Bombali	Bombali Sebora	0	0	1			1		13/09/2015
Leone	Kambia	Tonko Limba	1	1	4	4				09/09/2015
Subtotal			1	1	5	4	0	1	0	
All			3	2	5	4	0	1	0	

リベリアでは7月22日に最終確定患者の2回の検査陰性を確認し42日が経過  
9月3日にWHOにより終息が宣言された

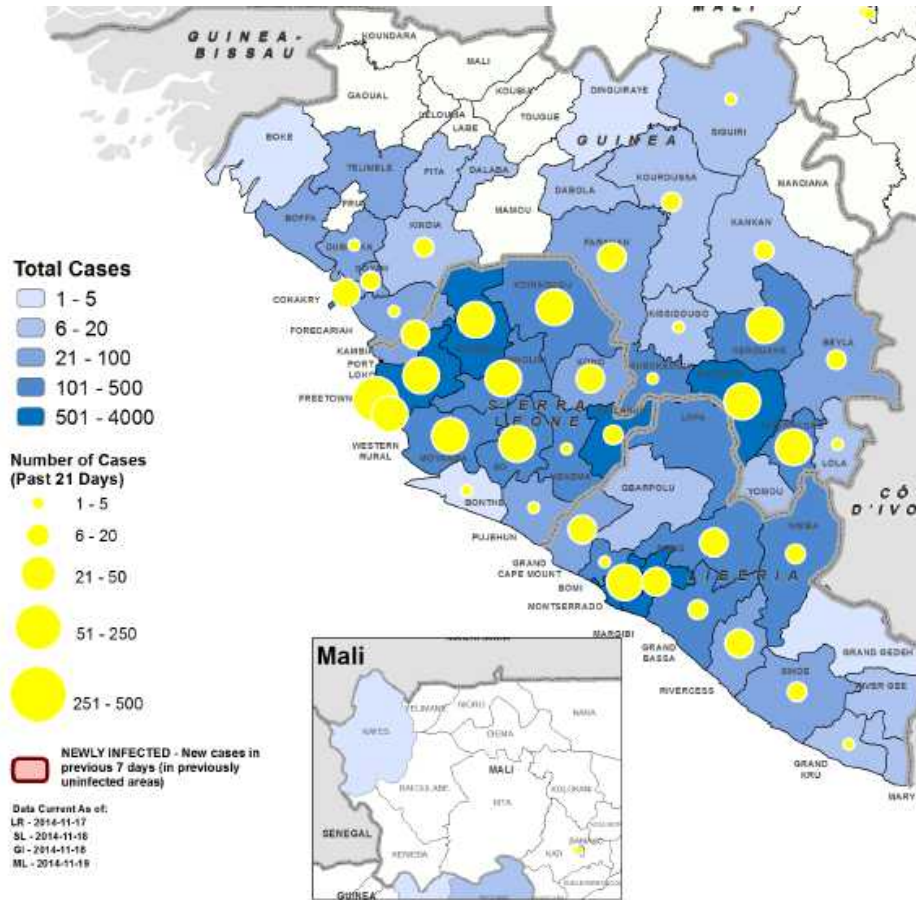
最近では多くが接触者リスト内の人。  
もしくは、接触者リストにない、感染源不明でもリンクが見つかることが多くなってきた。

# EVD新規患者とリンク不明者数 (date up to 13 Sep 2015) (2015年5月3日～9月13日, n=308)

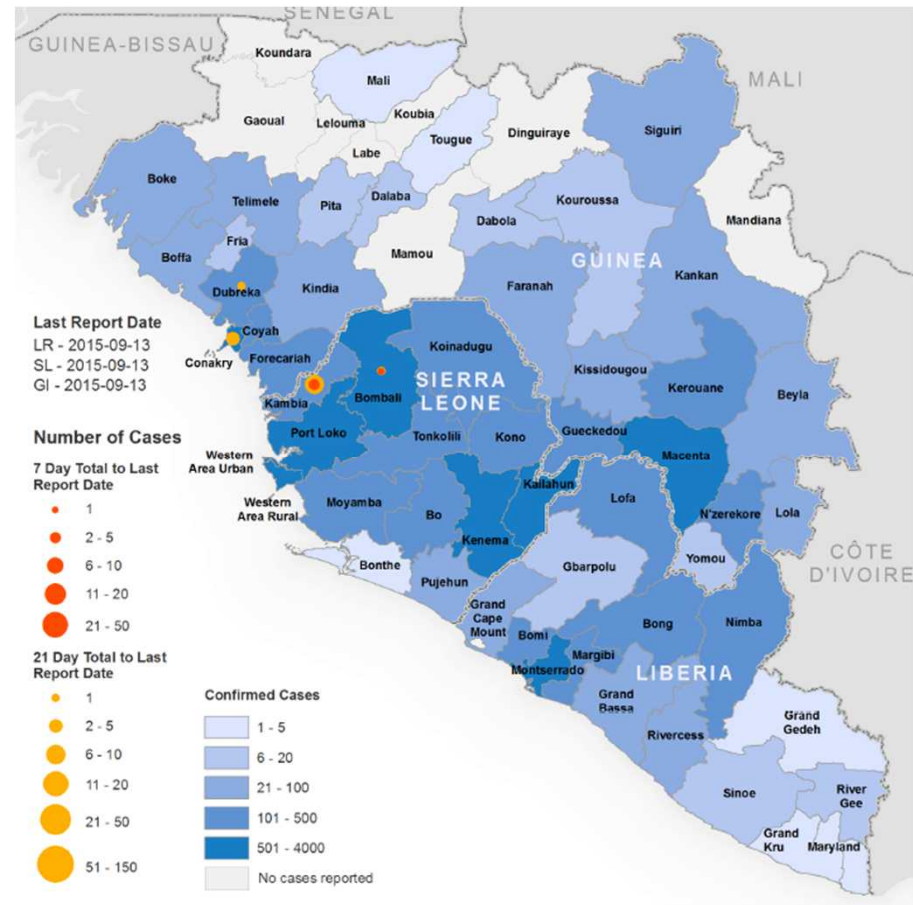


# Geographical distribution of confirmed cases (date up to 13 Sep 2015)

21-Nov 2014



13-Sep 2015



新規患者の発生地域は限局化されてきている。

# Cases and contacts over the past 3 weeks (date up to 13 Sep 2015)

ギニア  
前々週410人 前週292人と減少

	Prefecture/ District/ County	Week		7	8	9	10	11	12	13	Week	Contacts under follow up*
		35	36	Sept Mon	Sept Tues	Sept Wed	Sept Thurs	Sept Fri	Sept Sat	Sept Sun		
Guinea	Conakry	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	223
	Dubreka	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
Subtotal		2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	241
Sierra	Bombali	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	680
Leone	Kambia	1	1	3	0	1	0	0	0	0	4	844
Subtotal		1	1	3	0	1	0	0	0	1	5	1524
Total		3	2	3	0	1	0	0	0	1	5	1765

シエラレオネ  
前々週48人 前週989人と増加

- シエラレオネでは患者との地理的距離が近い集団を接触者としており、新たな地域での患者発生に伴い人数は大幅に増加しているが、このうち行動歴から濃厚接触者と判断されているのは約60名である
- ギニアでは新規患者の減少に伴い健康観察対象者は減少傾向

# 現状のまとめ(2015年9月17日現在)

## 新規患者の発生:

- ・ギニアでは9/1に確定例が報告されて以来, 9/13新規患者が報告されていない. これは最近1年間で初めてのことである
- ・シエラレオネにおいては, 8/7以降2週連続で新規患者がゼロであったが, 8/29に感染源不明の新規患者を認め, その患者の接触者からの発症が続いている
- ・シエラレオネでは9/13にBombaliで5か月ぶりに新規患者が発生し, 感染源は不明である.
- ・医療従事者や患者の家族など濃厚接触者以外の発症は少ない.

## 健康観察者:

- ・ギニアでは現在241人の接触者が健康観察下にあり, 減少傾向にある. また, 接触者を対象としたrVSV-ZEBOVエボラワクチンのring vaccinationが継続して臨床試験として実施されている.
- ・シエラレオネにおいてもギニア同様のring vaccinationが予定されている.
- ・シエラレオネの健康観察下にある接触者は新規患者の発生により増加した.

## 疫学調査の質:

- ・現在報告されている新規患者の多くが接触者リスト内の者である.
- ・リンク不明患者でも後にリンクが判明することが多くなっている.
- ・市中の死亡例や疑い症例の検査は積極的に施行され, その陽性率も新規患者数の減少を反映している.
- ・ただし, リベリアも終息宣言後に患者が見られ, 診断, 報告されていない患者がいることも否定できない.